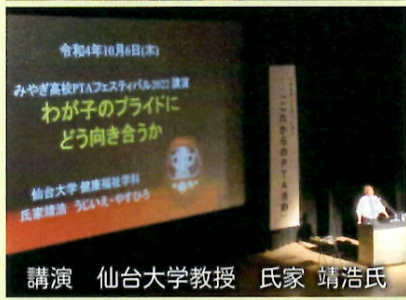


恒例の「みやぎ高校PTAフェスティバル2022」が令和4年10月6日（木）に仙台市太白文化センター（楽楽ホール）で開催されました。昨年までは、コロナ禍で参加者を制限してきましたが、今回は参加者を制限せず、184名が参加して開催されました。

みやぎ高校PTAフェスティバル2022



開会行事



講演 仙台大学教授 氏家 靖浩氏

「これからのPTA活動」— with コロナの中で — をテーマに萎縮した学校生活を強いられている高校生にどのように向き合い、また、コロナ禍の中でPTA活動をどのように実施するのか、講演とパネルディスカッションが行われました。

講演は、仙台大学教授の氏家 靖浩 氏を講師に「わが子のプライドにどう向き合うか」と題して、ユーモア溢れる具体的なお話がありました。また、パネルディスカッションでは、パネリストからコロナ禍のPTA活動で困ったことや工夫して実施した活動などが話され、これからのPTA活動に役に立つ内容でした。

アトラクションでは、輝かしい実績のある仙台南高校の音楽部合唱団に演奏していただきました。特に、震災復興に貢献している曲「わせねでや」は、参加者に感動を与えました。

来年度は、2023宮城大会が開催されますので、フェスティバル2023は開催しないことを常任理事会で決定しております。



パネルディスカッション



アトラクション 仙台南高合唱団



受付風景

支部会員研修会

県北支部

事務局長 千葉 亮

県北支部指導者研修会は、11月11日（金）くりはら交流プラザ「エポカ21」を会場に県高P連事務局長三塚明彦様のご臨席の下開催しました。講演会は元宝塚歌劇団女役スターでマナー講師・夢実現コンサルタントとして、年間50を超える講演・研修を行われている南城ひかり氏をお迎えし、「～タカラジェンヌ流～‘夢’を叶えるコミュニケーション法」と題して、お話しを頂きました。宝塚音楽学校受験や宝塚歌劇団在籍時代の幾多の困難や挫折を乗り越えてこられた中から「自分であること」の大切さに気づき、得られたノウハウを“自分の魅力を引き出す方法”や“コミュニケーションを行う上で大切なこと”などを踏まえながらのお話で、自分自身を見つめ直す貴重な機会となりました。



事例研究では、気仙沼向洋高校PTA吉越稔会長より工夫されたPTA活動について紹介して頂き、コロナ禍により活動の制限を受けながらも総会や親子奉仕作業などの参加人数が徐々に増えている様子なども伺うことができました。

未だに新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加の呼びかけについても躊躇するところもあり、歯がゆい思いをした部分もありましたが、参加者の皆様と有意義な時間を共有することができ、充実した研修会になったと思います。